

**同じ月齢の赤ちゃんファミリー同士の出会いも！ “あそび”と“食べる”を楽しく学ぶ
 ボーンエルンド×明治 子育てセミナー「もぐもぐ+あそぼ」を開催
 ～ 7月1日（金）・2日（土）六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース ～**

子どもの健全な成長にあそびを通して寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーンエルンド（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中西弘子）は、株式会社 明治（本社：東京都中央区、代表取締役社長：松田 克也）と協業し、“あそび”と“食べる”で子どもの個性豊かな「みらい」への成長を一緒に育てる「もぐもぐ+あそぼ プロジェクト」を3月より開始いたしました。この協業を記念して、7月1日（金）2日（土）、六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペースにて、子育てセミナー「もぐもぐ+あそぼ」を開催します。当セミナーでは、ボーンエルンドのプレイリーダーと明治の栄養士が、月齢ごとに知ってほしい、子育てにおける“あそび”や“食べる”についてのお話や、親子で楽しめるあそびを実施します。



あそびと栄養について専門家から情報を得る機会、赤ちゃんを持つママとパパ同士の出会いの機会に

ボーンエルンドと明治の協業プロジェクトは、「子どもの個性豊かな“みらい”の成長を応援したい」「パパ・ママが楽しく育児ができるよう応援したい」との両社の共通する思いで実現しました。

昨今のコロナ禍で出産したママたちは、子育てについて信頼できる相手に相談する機会や、子育てママ同士のリアルでの情報交換の場が減っています。両社で意識調査（後述）を行ったところ、多くのママが、子どもの健康や成長のためになる情報を知ることが重要と考え、中でも、「栄養・食事」と「あそび」に関する情報のニーズが高いことがわかりました。「栄養・食事」と「あそび」のトピックに絞って調査してみると、いずれも 88%の母親が信頼できる情報を得ることが大切と考えていました。その一方で、情報収集はインターネットや SNS で行っており、信頼性が高いと考える情報源に満足に当たれていない現状も垣間見えました。結果、自分の子どもや子育てに適した情報の判断が難しく、得られた情報を実践することへの不安や負担を感じるなど、ジレンマを抱えている様子も浮き彫りになりました。

そこで、ニーズの高い「栄養・食事」と「あそび」について、信頼性の高い情報が同時に得られる場を用意し、今知りたいことがわかるイベントを開催します。

子どもの月齢ごとにグループを作り、あそびのプロであるプレイリーダーによるその月齢・発達に即したあそび提案や、明治の栄養士からアドバイスをもらえる親子参加型のセミナーです。同じくらいの月齢の子どもを育てる参加者同士、情報交換をしたり、お互いの気持ちを知ることができる機会を設けることで、子育てがより前向きに楽しくなるように応援します。

ポーネルド×明治 子育てセミナー「もぐもぐ+あそび」 概要

- 開催日時 : 2022年7月1日(金)、2日(土) 各日10:00~15:30頃(30分程度×4回 予定)
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催日時が変更になる可能性があります
- 場 所 : 六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- 内 容 : ポーネルドのプレイリーダーと明治の栄養士が本当に伝えたい、子育てにおける“あそび”や“食べる”についてのお話や、子どもが楽しめるワークショップなどを実施
- 対 象 : 生後6ヶ月~23ヶ月(1歳11ヶ月)のお子様と保護者(※親子一緒にご参加ください)
- 参加費 : 無料(参加記念プレゼント付き)
- 内 容 : 月齢・発達段階ごとに4つのグループに分かれて、各6組程度の親子が参加。
ポーネルドのプレイリーダーと明治の栄養士が各月齢にぴったりの子育てにおける“あそび”や“食べる”についてのお話や、親子で楽しめるワークショップなどを実施。
- 参加方法 : 事前予約制 下記サイトから応募(応募者多数の場合は抽選となります)
- 特設サイト : <https://www.meiji.co.jp/baby/club/bornelund/>
- 月齢グループとテーマ

	『あそび』 講師：ポーネルド プレイリーダー	『栄養と食事』 講師：明治 栄養士
①生後6~8ヶ月	「あそびと粗大運動」 からだの発達とふれあい遊び	「離乳食の基本と栄養」
②生後9~11ヶ月	「目と手の協応動作」 目で見えたものをつまむ指先遊び	「子どもの脳の発達と栄養」
③生後12~18ヶ月	「模倣とあそび」 言葉の理解とまねっこ遊び	「幼児食の基本と栄養」
④生後19~23ヶ月	「くりかえし遊び」 言葉の発話とくりかえし遊び	「幼児食の基本と栄養」

ご参考情報：子育てに関する情報収集についての意識調査

ポーネルドと明治は、協業プロジェクトの立ち上げに際して、子育てに関する情報収集の実態を明らかにすべく、全国の0歳から6歳までの子を持つ母親を対象に意識調査を行いました。

【調査概要】

調査方法 : インターネット調査

調査対象 : 0歳~6歳の子どもを長子に持つ、20~45歳の母親

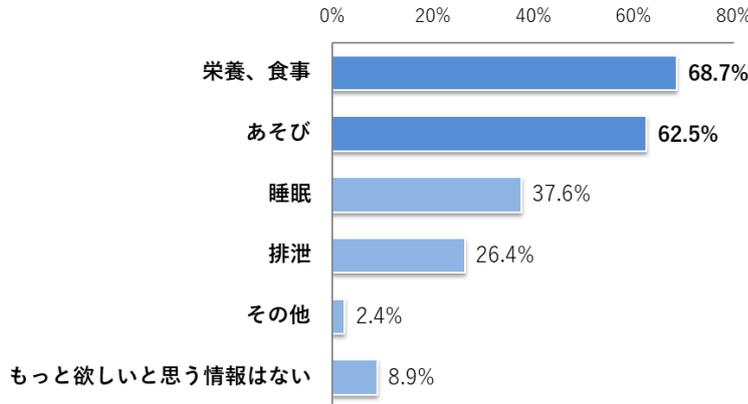
有効回答数 : 子どもの年齢に応じた以下5グループで、合計1,214サンプル

- ①0歳の子どもを長子に持つ母親 221名 / ②1歳の子どもを長子に持つ母親 221名 /
- ③2歳の子どもを長子に持つ母親 221名 / ④3歳の子どもを長子に持つ母親 221名 /
- ⑤4~6歳の子どもを長子に持つ母親 330名

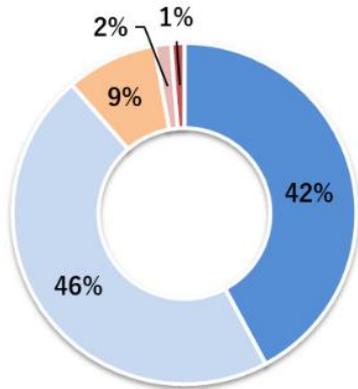
調査時期 : 2022年2月8日~2月14日

【調査結果】 ※構成割合は四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

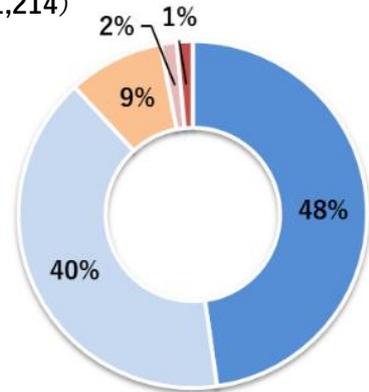
・子育てに関して、もっと欲しいと思う情報は何か。当てはまるものを全て選択ください。(n=1,214)



・子どもの成長にあった「あそびやおもちゃ」について、信頼できる情報を得ることは大切だと思いますか。(n=1,214)

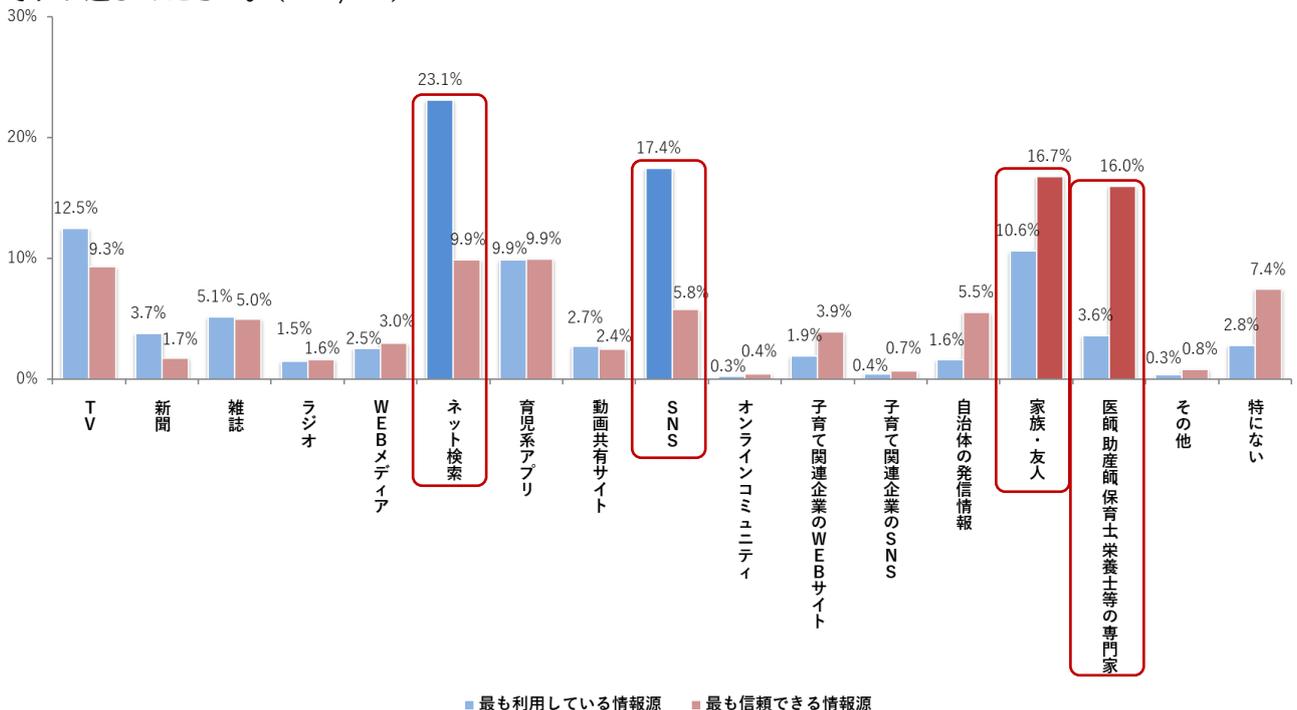


・子どもの成長にあった「栄養や離乳食・食事の進め方」について、信頼できる情報を得ることは大切だと思いますか。(n=1,214)



■ とても大切だと思う ■ やや大切だと思う ■ どちらとも言えない ■ あまり大切ではないと思う ■ 全く大切ではないと思う

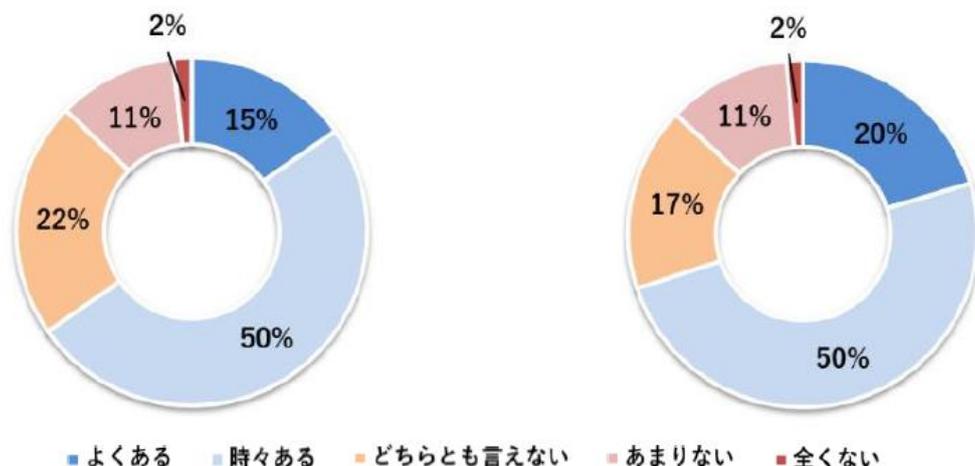
・子育てに関するあなたの情報源について、「最も利用している情報源」と「最も信頼できる情報源」をそれぞれお選びください。(n=1,214)



■ 最も利用している情報源 ■ 最も信頼できる情報源

・「あそびやおもちゃ」について、情報が多すぎて何を実践したらよいかわからなくなり、負担や不安を感じることはありますか。(n=1,214)

・「栄養や離乳食・食事の進め方」について、情報が多すぎて何を実践したらよいかわからなくなり、負担や不安を感じることはありますか。(n=1,214)



【 ボーネルンドについて 】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 64 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では直営のあそび場全国 25 ヶ所、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国 60 ヶ所以上、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報部
 担当：西山、村上
 TEL：03-5785-0860、080-5901-3591
 e-mail public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）】

株式会社ボーネルンド
 TEL:03-5785-0860（月～金 10:00～17:00）